



ハードウェアの概要 StorageGRID 11.7

NetApp
April 12, 2024

目次

ハードウェアの概要	1
SGF6112アプライアンス：概要	1
SG6060およびSG6060Xアプライアンス：概要	3
SG6000コントローラ	8
SG5700アプライアンス：概要	14
SG5700コントローラ	19
SG100 および SG1000 アプライアンス：概要	23

ハードウェアの概要

SGF6112アプライアンス：概要

StorageGRID SGF6112アプライアンスは、StorageGRID システムのストレージノードとして機能します。アプライアンスは、アプライアンスストレージノードと仮想（ソフトウェアベース）ストレージノードを組み合わせたハイブリッドグリッド環境で使用できます。

SGF6112アプライアンスには次の機能があります。

- コンピューティングコントローラとストレージコントローラを統合したNVMe（Nonvolatile Memory Express）SSDドライブ×12
- StorageGRID ストレージノードのストレージ要素とコンピューティング要素を統合します。
- ストレージノードの導入と設定を簡易化する StorageGRID アプライアンスインストーラが搭載されています。
- コンピューティングコントローラのハードウェアを監視および診断するためのベースボード管理コントローラ（BMC）が搭載されています。
- StorageGRID のグリッドネットワークとクライアントネットワークとの 10GbE または 25GbE 接続を最大 4 つサポートします。

SGF6112ハードウェア概要

StorageGRID SGF6112は、1Uシャーシにコンピューティングコントローラとストレージコントローラを統合したコンパクトな設計のオールフラッシュアプライアンスです。アプライアンスは12本のSSD NVMeドライブをサポートし、ドライブあたり最大15.3TBのストレージ容量を実現します。

耐障害性に優れたオブジェクトストレージ

SGF6112はRAIDのSSDで設計されており、次のデータ保護機能を提供します。

- 1本のSSDで障害が発生したあとも、オブジェクトの可用性に影響を与えることなく機能する。
- 複数のSSDで障害が発生した場合でも、オブジェクトの可用性を最小限に抑えながら機能する（基盤となるRAIDスキームの設計に基づく）。
- ノードのルートボリューム（StorageGRID オペレーティングシステム）を収容するRAIDに極端な損傷を与えないSSD障害から、稼働中に完全にリカバリ可能です。

SGF6112ハードウェアコンポーネント

SGF6112アプライアンスには、次のコンポーネントが含まれています。

コンポーネント	説明
コンピューティングとストレージのプラットフォーム	<p>1ラックユニット（1U）サーバ。構成は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2基の2.1/2.6 GHz 165 Wプロセッサが48コアを提供します • 256 GB の RAM • 1/10 GBase-Tポート×2 • 10 / 25GbEイーサネットポート×4 • 256 GB内蔵起動ドライブ×1（StorageGRID ソフトウェアを含む） • ベースボード管理コントローラ（BMC） - ハードウェア管理を簡素化します • 冗長電源装置とファン

SGF6112の図

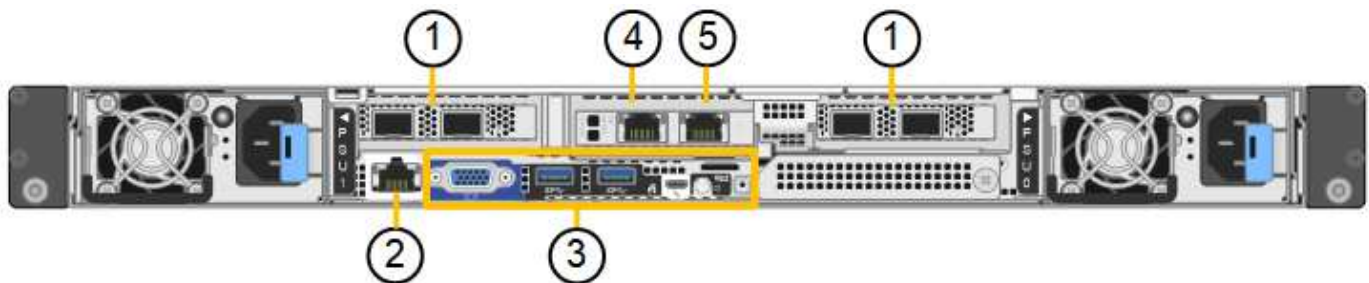
SGF6112の前面

次の図は、ベゼルを取り付けていないSGF6112の前面を示しています。アプライアンスには、12本のSSDを搭載した1Uのコンピューティングおよびストレージプラットフォームが含まれています。



SGF6112の背面

次の図は、SGF6112の背面（ポート、ファン、電源装置を含む）を示しています。



コールアウト	ポート	を入力します	使用
1.	ネットワークポート 1~4	10 / 25GbE：ケーブルまたはSFPトランシーバのタイプ（SFP28およびSFP+モジュールをサポート）、スイッチ速度、設定されたリンク速度に基づきます。	StorageGRID のグリッドネットワークおよびクライアントネットワークに接続します。

コールアウト	ポート	を入力します	使用
2.	BMC 管理ポート	1GbE (RJ-45)	アプライアンスのベースボード管理コントローラに接続します。
3.	診断とサポート用のポート	<ul style="list-style-type: none"> • VGA • USB • Micro-USBコンソールポート • Micro-SDスロットモジュール 	テクニカルサポート専用です。
4.	管理ネットワークポート 1	1 / 10GbE (RJ-45)	アプライアンスを StorageGRID の管理ネットワークに接続します。
5.	管理ネットワークポート 2	1 / 10GbE (RJ-45)	<p>オプション：</p> <ul style="list-style-type: none"> • StorageGRID の管理ネットワークへの冗長接続を確立するには、管理ネットワークポート1とボンディングします。 • 一時的なローカルアクセス用 (IP 169.254.0.1) に空けておくことができます。 • DHCPによって割り当てられたIPアドレスを使用できない場合は、設置時にポート2を使用してIP設定を行います。

SG6060およびSG6060Xアプライアンス：概要

StorageGRID SG6060とSG6060Xアプライアンスには、それぞれコンピューティングコントローラと、2台のストレージコントローラと60本のドライブを搭載したストレージコントローラシェルフが搭載されています。

必要に応じて、60ドライブ拡張シェルフを両方のアプライアンスに追加できます。ストレージコントローラのインターコネクトポートの位置以外に、SG6060とSG6060Xには仕様や機能の違いはありません。

SG6060とSG6060Xのコンポーネント

SG6060およびSG6060Xアプライアンスには、次のコンポーネントが含まれています。

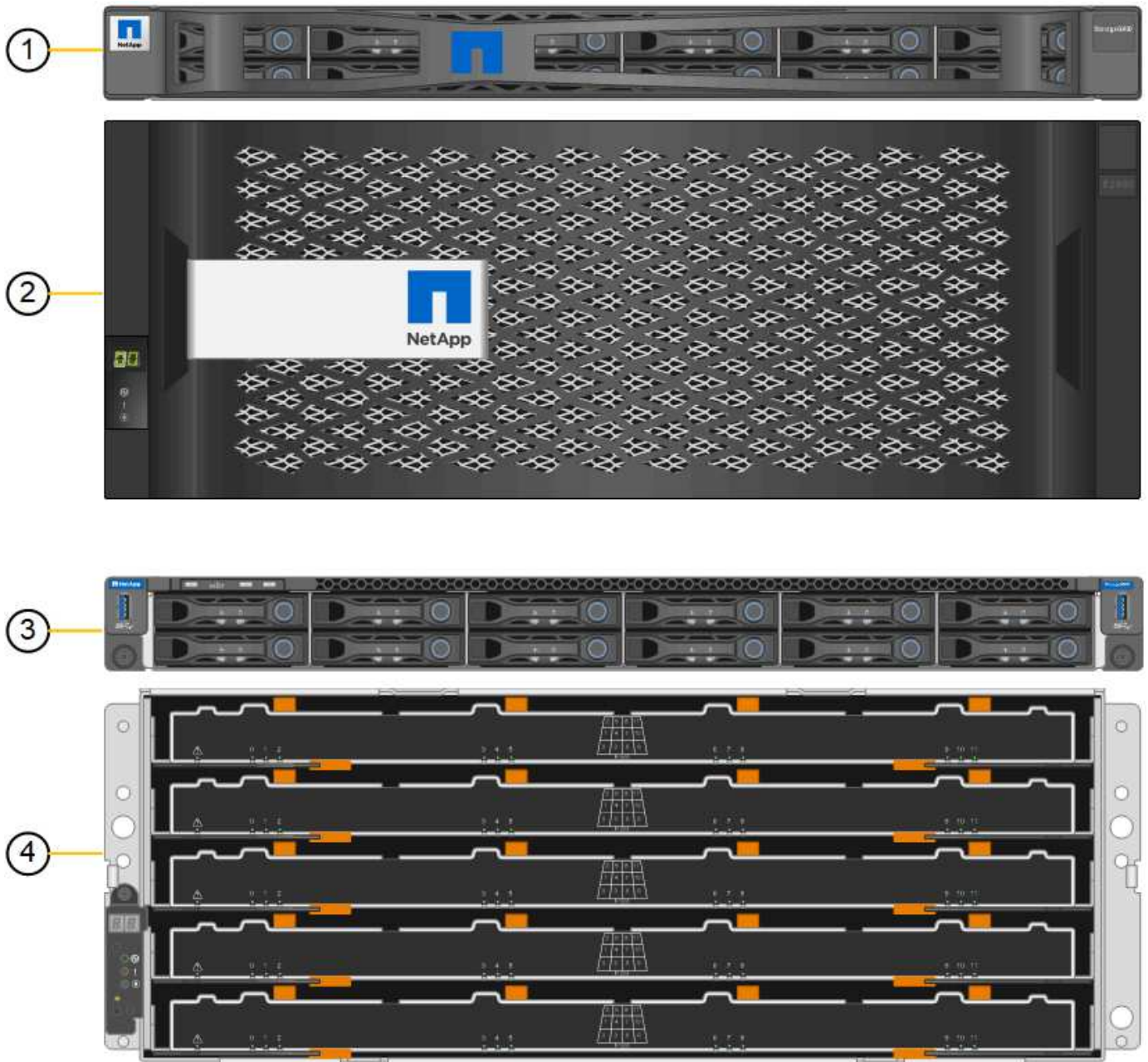
コンポーネント	説明
コンピューティングコントローラ	<p>SG6000-CN コントローラ、1 ラックユニット（1U）サーバ。次のものが搭載されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 40 コア（80 スレッド） • 192GB の RAM • 25Gbps アグリゲートイーサネット帯域幅 × 最大 4 • 16Gbps Fibre Channel（FC）インターコネクタ × 4 • ベースボード管理コントローラ（BMC） - ハードウェア管理を簡素化します • 冗長電源装置
ストレージコントローラシェルフ	<p>E シリーズ E2860 コントローラシェルフ（ストレージアレイ）。4U シェルフの 1 つで、構成は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • E2800 シリーズのコントローラ × 2（デュプレックス構成） - ストレージコントローラのフェイルオーバーをサポートします <ul style="list-style-type: none"> ◦ E2800A ストレージコントローラが搭載されます ◦ SG6060X には、E2800B のストレージコントローラが含まれています • 5 ドロワードライブシェルフ - 3.5 インチドライブを 60 本（SSD × 2、NL-SAS ドライブ × 58）収容 • 冗長電源装置とファン
<p>オプション：ストレージ拡張シェルフ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 注：拡張シェルフは、初期導入時に設置することも、あとで追加することもできます。 	<p>E シリーズ DE460C エンクロージャ：4U シェルフで、以下を構成：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入出力モジュール（IOM） × 2 • それぞれに 12 本の NL-SAS ドライブを搭載し、合計 60 本のドライブを搭載したドロワー × 5 • 冗長電源装置とファン <p>各 SG6060 および SG6060X アプライアンスには拡張シェルフを 1 台または 2 台搭載して合計 180 本のドライブを搭載できます（そのうち 2 本は E シリーズの読み取りキャッシュ用に予約されています）。</p>

SG6060 および SG6060X の図

SG6060 と SG6060X の前面は同じです。

SG6060 または SG6060X の前面

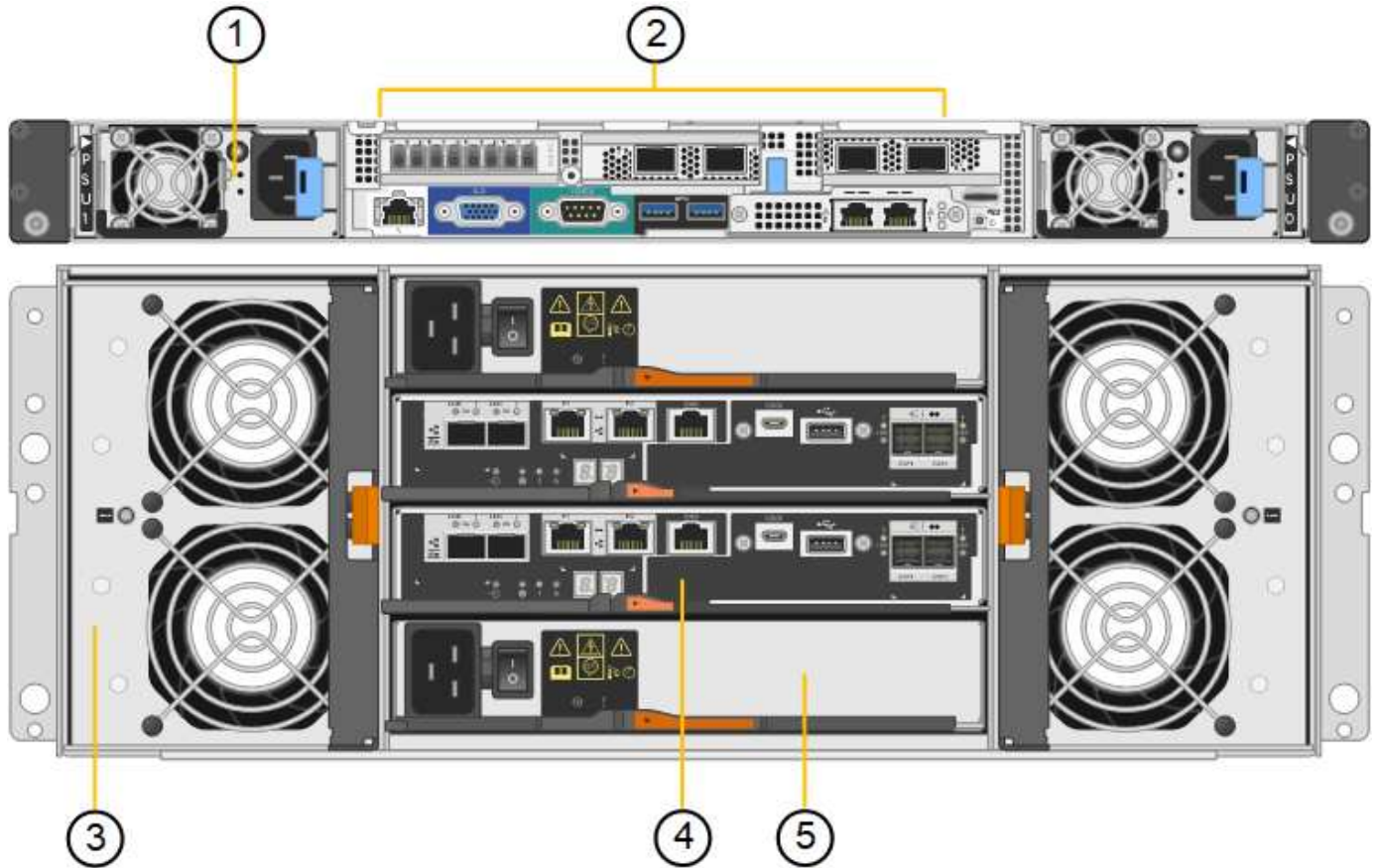
次の図は、SG6060 または SG6060X の前面です。1U コンピューティングコントローラ 1 台、2 台のストレージコントローラと 5 台のドライブドロワーに 60 本のドライブを搭載した 4U シェルフ 1 台で構成されます。



コールアウト	説明
1.	前面ベゼルを取り付けた SG6000-CN コンピューティングコントローラ
2.	前面ベゼルを取り付けた E2860 コントローラシェルフ (オプションの拡張シェルフも同様)
3.	前面ベゼルを取り外した SG6000-CN のコンピューティングコントローラ
4.	前面ベゼルを取り外した E2860 コントローラシェルフ (オプションの拡張シェルフも同様)

SG6060の背面

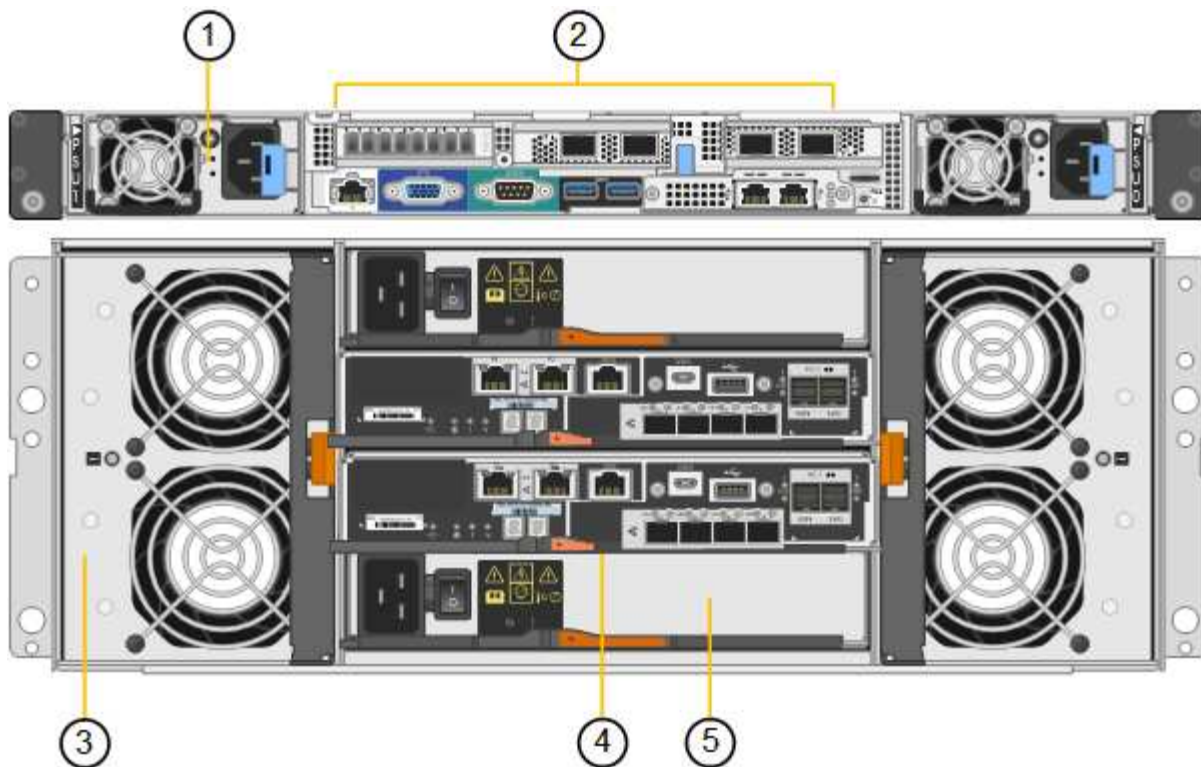
この図は、コンピューティングコントローラ、ストレージコントローラ、ファン、電源装置を含む SG6060 の背面を示しています。



コールアウト	説明
1.	SG6000-CN コンピューティングコントローラの電源装置 (× 2)
2.	SG6000-CN コンピューティングコントローラのコネクタ
3.	E2860 コントローラシェルフのファン (× 2)
4.	EシリーズE2800Aストレージコントローラ (× 2) とコネクタ
5.	E2860 コントローラシェルフの電源装置 (× 2)

SG6060Xの背面

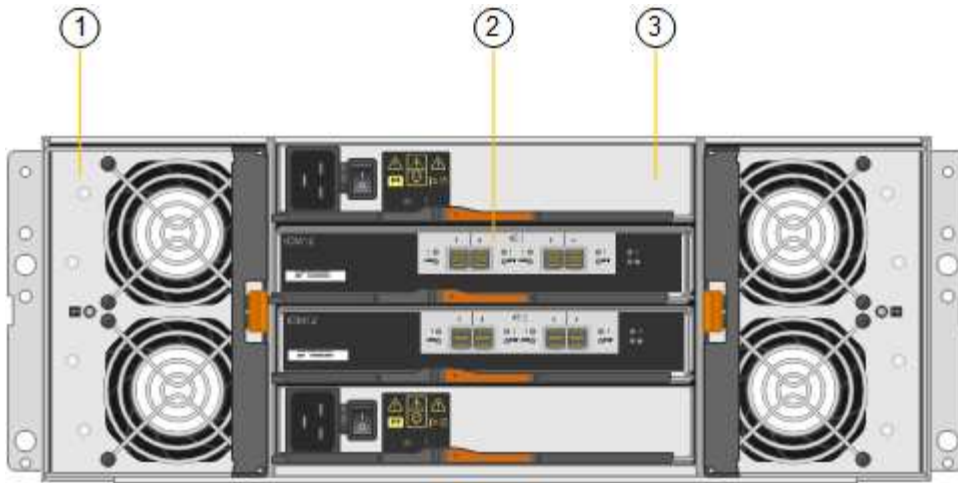
次の図は、SG6060Xの背面を示しています。



コールアウト	説明
1.	SG6000-CN コンピューティングコントローラの電源装置 (×2)
2.	SG6000-CN コンピューティングコントローラのコネクタ
3.	E2860 コントローラシェルフのファン (×2)
4.	EシリーズE2800Bストレージコントローラ (×2) とコネクタ
5.	E2860 コントローラシェルフの電源装置 (×2)

拡張シェルフ

この図は、SG6060とSG6060Xのオプションの拡張シェルフの背面です。これには、入出力モジュール (IOM)、ファン、電源装置が含まれます。各 SG6060 には、初期設置に含めることもあとで追加することもできる拡張シェルフを 1 台または 2 台設置することもできます。



コールアウト	説明
1.	拡張シェルフのファン（×2）
2.	拡張シェルフの IOM（×2）
3.	拡張シェルフの電源装置（×2）

SG6000コントローラ

StorageGRID SG6000 アプライアンスの各モデルには、1U エンクロージャに SG6000-CN コンピューティングコントローラが搭載され、2U または 4U エンクロージャにデュプレックス E シリーズストレージコントローラが搭載されています。各タイプのコントローラの詳細については、次の図を確認してください。

SG6000-CN コンピューティングコントローラ

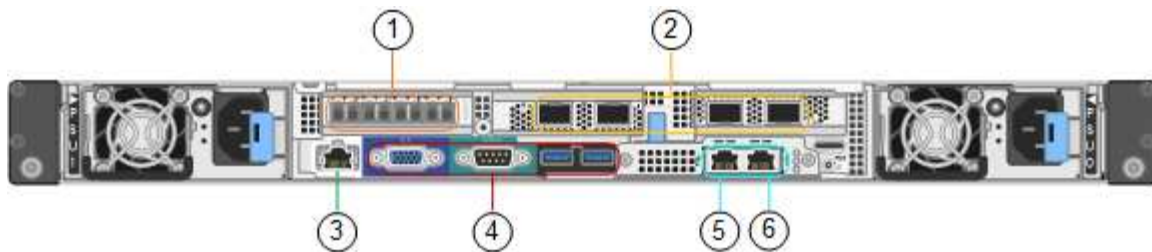
- アプライアンスのコンピューティングリソースを提供します。
- StorageGRID アプライアンスインストーラが搭載されています。



StorageGRID ソフトウェアは、アプライアンスにプリインストールされていません。このソフトウェアは、アプライアンスの導入時に管理ノードから取得されます。

- グリッドネットワーク、管理ネットワーク、クライアントネットワークを含む、3つの StorageGRID ネットワークすべてに接続できます。
- E シリーズストレージコントローラに接続し、イニシエータとして機能します。

SG6000-CNのコネクタ

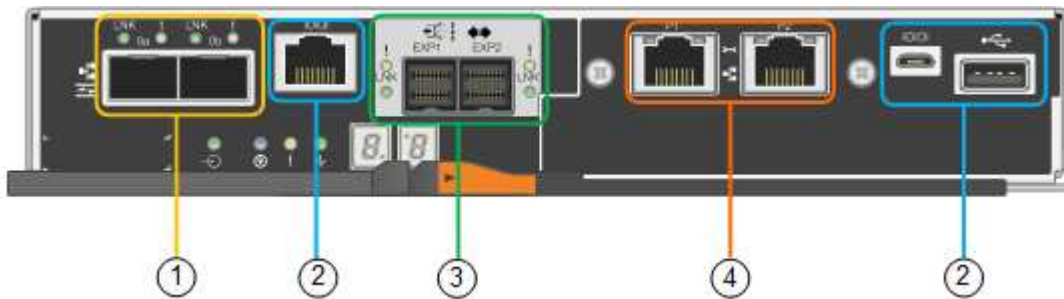


コールアウト	ポート	を入力します	使用
1.	インターコネクトポート 1~4	16Gb/s Fibre Channel (FC)、光ファイバ内蔵	SG6000-CN コントローラを E2800 コントローラに接続 (各 E2800 に 2 つの接続) します。
2.	ネットワークポート 1~4	10GbE または 25GbE。ケーブルまたは SFP トランシーバタイプ、スイッチ速度、および設定されたリンク速度に基づきます	StorageGRID のグリッドネットワークおよびクライアントネットワークに接続します。
3.	BMC 管理ポート	1GbE (RJ-45)	SG6000-CN のベースボード管理コントローラに接続します。
4.	診断とサポート用のポート	<ul style="list-style-type: none"> • VGA • シリアル、115200 8-N-1 • USB 	テクニカルサポート専用です。
5.	管理ネットワークポート 1	1GbE (RJ-45)	SG6000-CN を StorageGRID の管理ネットワークに接続します。
6.	管理ネットワークポート 2	1GbE (RJ-45)	<p>オプション：</p> <ul style="list-style-type: none"> • StorageGRID の管理ネットワークへの冗長接続を確保するには、管理ポート 1 とボンディングします。 • 一時的なローカルアクセス用 (IP 169.254.0.1) に空けておくことができます。 • DHCPによって割り当てられたIPアドレスを使用できない場合は、設置時にポート2を使用してIP設定を行います。

SGF6024 : EF570 ストレージコントローラ

- 2 台のコントローラでフェイルオーバーに対応。
- ドライブ上のデータを格納。
- デュプレックス構成では標準の E シリーズコントローラとして機能。
- SANtricity OS ソフトウェア（コントローラファームウェア）を搭載。
- ストレージハードウェアの監視やアラートの管理、AutoSupport 機能、ドライブセキュリティ機能に対応した SANtricity System Manager が搭載されています。
- SG6000-CN コントローラに接続して、フラッシュストレージへのアクセスを提供します。

EF570の接続



コールアウト	ポート	を入力します	使用
1.	インターコネクトポート 1 と 2	16Gb/秒FC光ファイバSFP	各 EF570 コントローラを SG6000-CN コントローラに接続します。 SG6000-CN コントローラへの接続は 4 つ（各 EF570 から 2 つ）あります。
2.	診断とサポート用のポート	<ul style="list-style-type: none"> • RJ-45 シリアルポート • マイクロ USB シリアルポート • USB ポート 	テクニカルサポート専用です。
3.	ドライブ拡張ポート	12Gb/ 秒 SAS の場合	使用されません。SGF6024 アプライアンスでは、拡張ドライブシェルフはサポートされません。
4.	管理ポート 1 と 2	1Gb（RJ-45）イーサネット	<ul style="list-style-type: none"> • ポート 1 は、ブラウザから SANtricity System Manager にアクセスするネットワークに接続します。 • ポート 2 はテクニカルサポート専用です。

SG6060およびSG6060X：E2800ストレージコントローラ

- 2台のコントローラでフェイルオーバーに対応。
- ドライブ上のデータを格納。
- デュプレックス構成では標準のEシリーズコントローラとして機能。
- SANtricity OS ソフトウェア（コントローラファームウェア）を搭載。
- ストレージハードウェアの監視やアラートの管理、AutoSupport 機能、ドライブセキュリティ機能に対応した SANtricity System Manager が搭載されています。
- SG6000-CN コントローラに接続して、ストレージへのアクセスを提供します。

SG6060およびSG6060Xでは、E2800ストレージコントローラを使用します。

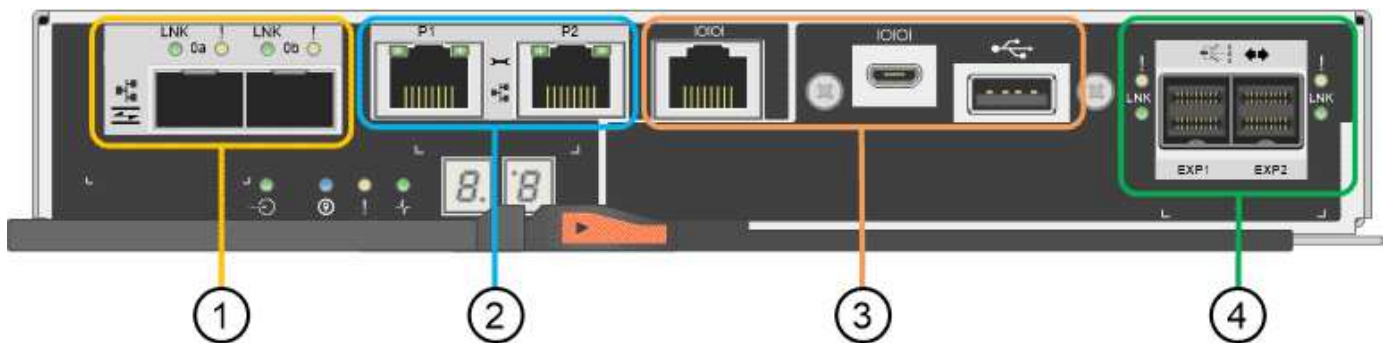
アプライアンス	コントローラ	コントローラHIC
SG6060 の設計	E2800Aストレージコントローラ×2	なし
SG6060Xの	E2800Bストレージコントローラ×2	4ポートのHIC

E2800AとE2800Bのストレージコントローラの仕様と機能は、インターコネクポートの場所を除きます。



E2800AとE2800Bを同じアプライアンスで使用しないでください。

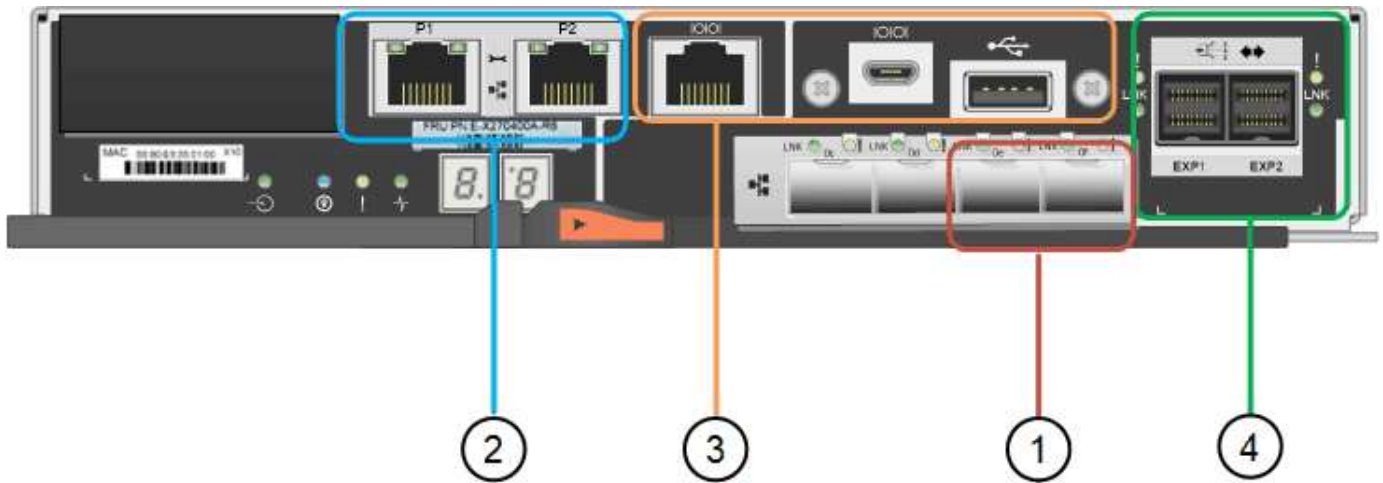
E2800Aのコネクタ



コールアウト	ポート	を入力します	使用
1.	インターコネクポート 1と2	16Gb/秒FC光ファイ バSFP	E2800Aコントローラのそれぞれ をSG6000-CNコントローラに接続しま す。 SG6000-CNコントローラへの接続は4 つ（各E2800Aから2つ）あります。

コールアウト	ポート	を入力します	使用
2.	管理ポート 1 と 2	1Gb (RJ-45) イーサネット	<ul style="list-style-type: none"> • ポート 1 のオプション： <ul style="list-style-type: none"> ◦ 管理ネットワークに接続して、SANtricity System Manager に TCP/IP で直接アクセスできるようにします ◦ スイッチポートと IP アドレスを保存する場合は、有線を使用しないでください。SANtricity System Manager には、グリッドマネージャまたはストレージグリッドアプライアンスインストーラの UI を使用してアクセスします。 • 注*：正確なログタイムスタンプのための NTP 同期など、オプションの SANtricity 機能の一部は、ポート 1 を有線接続しないままにする場合は使用できません。 • 注：ポート 1 を有線接続しない場合は、StorageGRID 11.5 以降および SANtricity 11.70 以降が必要です。 • ポート 2 はテクニカルサポート専用です。
3.	診断とサポート用のポート	<ul style="list-style-type: none"> • RJ-45 シリアルポート • マイクロ USB シリアルポート • USB ポート 	テクニカルサポート専用です。
4.	ドライブ拡張ポート 1 と 2	12Gb/秒 SAS の場合	拡張シェルフの IOM のドライブ拡張ポートに接続します。

E2800B コネクタ



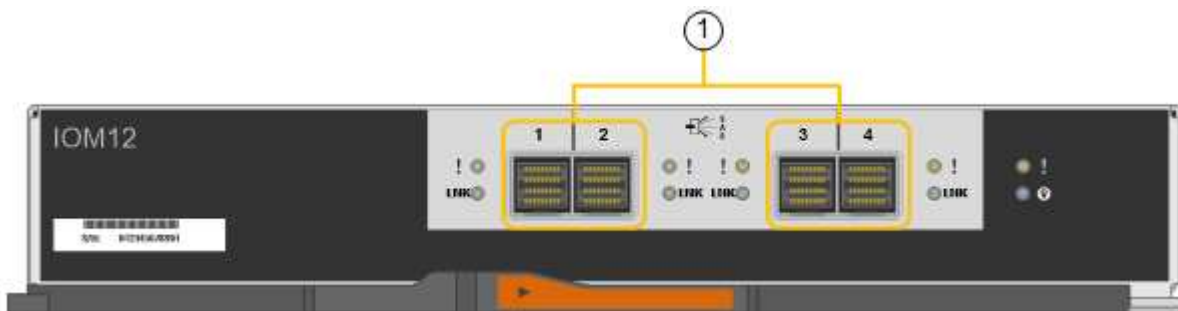
コールアウト	ポート	を入力します	使用
1.	インターコネクトポート 1と2	16Gb/秒FC光ファイ バSFP	E2800Bコントローラのそれぞれ をSG6000-CNコントローラに接続しま す。 SG6000-CNコントローラへの接続は4 つ（各E2800Bから2つ）あります。
2.	管理ポート1と2	1Gb（RJ-45）イーサネ ット	<ul style="list-style-type: none"> • ポート1のオプション： <ul style="list-style-type: none"> ◦ 管理ネットワークに接続して、SANtricity System Manager にTCP/IP で直接アクセスできるようにします ◦ スイッチポートとIPアドレスを保存する場合は、有線を使用しないでください。SANtricity System Manager には、グリッドマネージャまたはストレージグリッドアプライアンスインストーラのUIを使用してアクセスします。 • 注*：正確なログタイムスタンプのためのNTP同期など、オプションのSANtricity機能の一部は、ポート1を有線接続しないままにする場合は使用できません。 • 注：ポート1を有線接続しない場合は、StorageGRID 11.5以降およびSANtricity 11.70以降が必要です。 • ポート2はテクニカルサポート専用です。

コールアウト	ポート	を入力します	使用
3.	診断とサポート用のポート	<ul style="list-style-type: none"> • RJ-45 シリアルポート • マイクロ USB シリアルポート • USB ポート 	テクニカルサポート専用です。
4.	ドライブ拡張ポート 1 と 2	12Gb/ 秒 SAS の場合	拡張シェルフの IOM のドライブ拡張ポートに接続します。

SG6060およびSG6060X：オプションの拡張シェルフのIOM

拡張シェルフには、ストレージコントローラまたはその他の拡張シェルフに接続する入出力モジュール（IOM）が 2 台搭載されています。

IOMコネクタ



コールアウト	ポート	を入力します	使用
1.	ドライブ拡張ポート 1~4	12Gb/ 秒 SAS の場合	各ポートをストレージコントローラまたは追加の拡張シェルフ（ある場合）に接続します。

SG5700アプライアンス：概要

SG5700 StorageGRID アプライアンスは、StorageGRID グリッドにおいてストレージノードとして機能する、ストレージとコンピューティングを統合したプラットフォームです。アプライアンスは、アプライアンスストレージノードと仮想（ソフトウェアベース）ストレージノードを組み合わせたハイブリッドグリッド環境で使用できます。

StorageGRID SG5700シリーズアプライアンスには次のような特長があります。

- StorageGRID ストレージノードのストレージ要素とコンピューティング要素を統合します。
- ストレージノードの導入と設定を簡易化するために、StorageGRID アプライアンスインストーラが搭載されています。

- ハードウェアの管理と監視に使用する E シリーズ SANtricity System Manager が搭載されています。
- StorageGRID のグリッドネットワークとクライアントネットワークとの 10GbE または 25GbE 接続を最大 4 つサポートします。
- Full Disk Encryption (FDE) ドライブまたはFIPSドライブをサポートします。これらのドライブを SANtricity System Manager のドライブセキュリティ機能と併用すると、データへの不正アクセスを防止できます。

SG5700アプライアンスには、SG5712とSG5712、SG5712、SG5760とSG5712、SG5712の60Xの4つのモデルがあります。ストレージコントローラのインターコネクトポートの場所を除き、SG5712とSG5712の機能に違いはありません。同様に、SG5760とSG5760Xには、ストレージコントローラ上のインターコネクトポートの場所を除き、仕様や機能に違いはありません。

SG5700のコンポーネント

SG5700モデルには次のコンポーネントが含まれています。

コンポーネント	SG5712	SG5712X	SG5760	SG5760X
コンピューティング コントローラ	E5700SG コント ローラのもので す	E5700SG コント ローラのもので す	E5700SG コント ローラのもので す	E5700SG コント ローラのもので す
ストレージコント ローラ	E2800Aコントロー ラ	E2800Bコントロー ラ	E2800Aコントロー ラ	E2800Bコントロー ラ
シャーシ	E シリーズ DE212C エンクロージャ： 2 ラックユニット (2U) エンクロージャ	E シリーズ DE212C エンクロージャ： 2 ラックユニット (2U) エンクロージャ	E シリーズ DE460C エンクロージャ： 4 台のラックユニット (4U) エンクロ ージャ	E シリーズ DE460C エンクロージャ： 4 台のラックユニット (4U) エンクロ ージャ
ドライブ	12 本の NL-SAS ド ライブ (3.5 インチ)	12 本の NL-SAS ド ライブ (3.5 インチ)	60 本の NL-SAS ド ライブ (3.5 インチ)	60 本の NL-SAS ド ライブ (3.5 インチ)
冗長電源装置とファ ン	電源 / ファンキャニ スター × 2	電源 / ファンキャニ スター × 2	2 つの電源キャニ スターと 2 つのファン キャニスター	2 つの電源キャニ スターと 2 つのファン キャニスター

StorageGRID アプライアンスで使用可能な最大物理ストレージは、各エンクロージャ内のドライブの数に応じて決まっています。ドライブを追加したシェルフを追加して使用可能なストレージを拡張することはできません。

SG5700の構成図

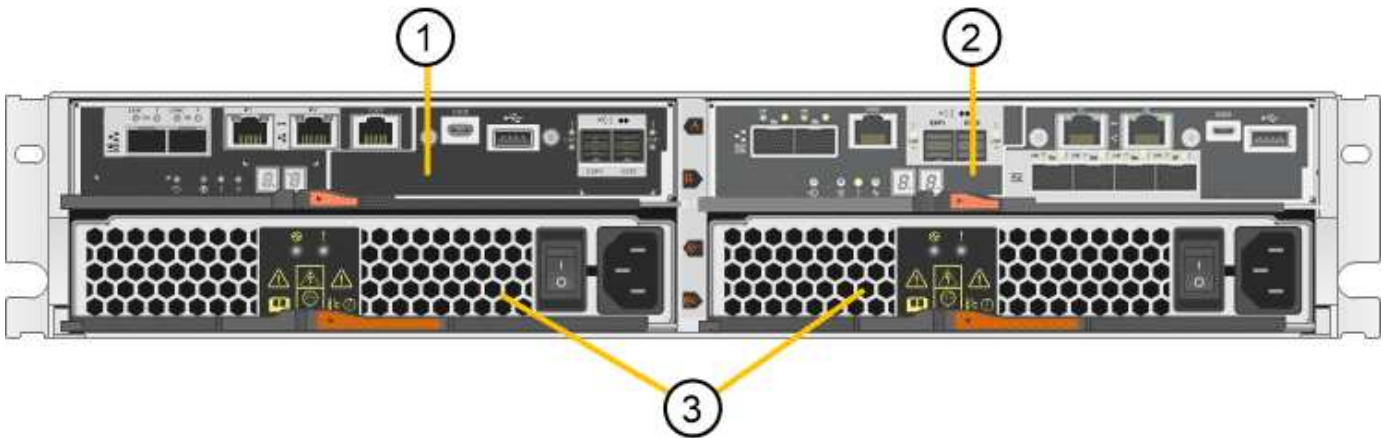
SG5712の前面と背面

次の図は、12本のドライブを搭載した2UエンクロージャであるSG5712の前面と背面を示しています。



SG5712のコンポーネント

SG5712には、2台のコントローラと2つの電源/ファンキャニスターが含まれています。



コールアウト	説明
1.	E2800Aコントローラ (ストレージコントローラ)
2.	E5700SG コントローラ (コンピューティングコントローラ)
3.	電源 / ファンキャニスター

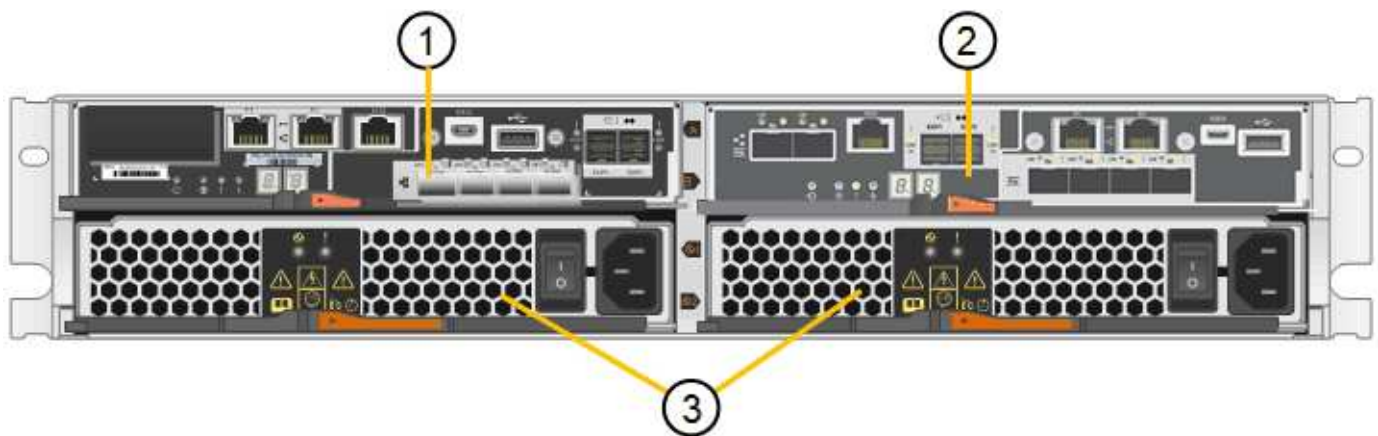
SG5712Xの前面と背面

次の図は、12本のドライブを搭載した2UエンクロージャであるSG5712Xの前面と背面を示しています。



SG5712Xのコンポーネント

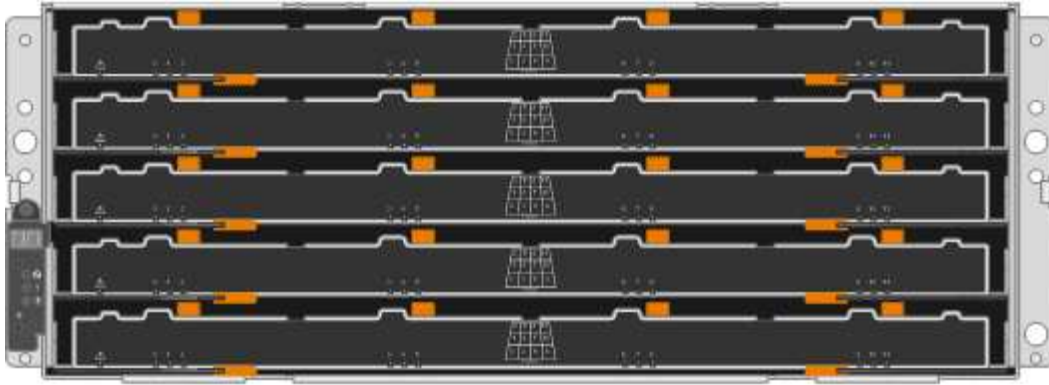
SG5712Xには、2つのコントローラと2つの電源/ファンキャニスターが搭載されています。



コールアウト	説明
1.	E2800Bコントローラ (ストレージコントローラ)
2.	E5700SG コントローラ (コンピューティングコントローラ)
3.	電源 / ファンキャニスター

SG5760の前面と背面

次の図は、SG5760モデル (5台のドライブドロワーに60本のドライブを搭載した4Uエンクロージャ) の前面と背面を示しています。



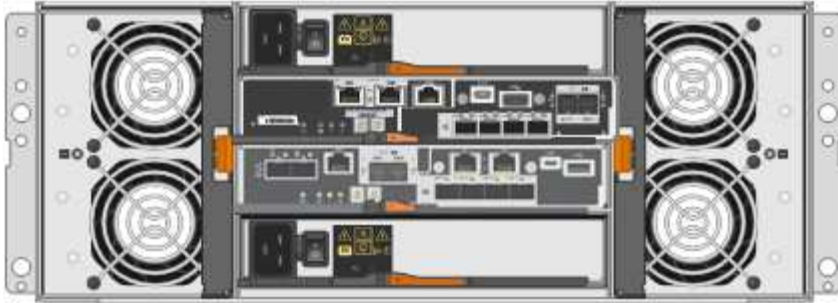
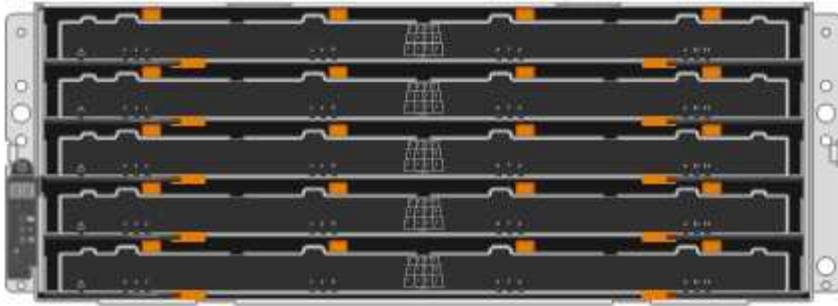
SG5760のコンポーネント

SG5760 には、コントローラ 2 台、ファンキャニスター 2 台、電源キャニスター 2 台が搭載されています。

コールアウト	説明
1.	E2800Aコントローラ（ストレージコントローラ）
2.	E5700SG コントローラ（コンピューティングコントローラ）
3.	ファンキャニスター（2つのうちの1つ）
4.	電源キャニスター（2つのうちの1つ）

SG5760Xの前面と背面

次の図は、SG5760Xモデル（5台のドライブドローに60本のドライブを搭載した4Uエンクロージャ）の前面と背面を示しています。



SG5760Xのコンポーネント

SG5760Xには、コントローラ2台、ファンキャニスター2台、電源キャニスター2台が搭載されています。

コールアウト	説明
1.	E2800Bコントローラ (ストレージコントローラ)
2.	E5700SG コントローラ (コンピューティングコントローラ)
3.	ファンキャニスター (2つのうちの1つ)
4.	電源キャニスター (2つのうちの1つ)

関連情報

["NetApp E シリーズシステムのドキュメントのサイト"](#)

SG5700コントローラ

StorageGRID アプライアンスの12ドライブSG5712とSG5712、および60ドライブSG5760とSG5712およびE5700SG 60Xモデルには、コンピューティングコントローラとEシリーズE2800ストレージコントローラが含まれています。

- SG5712とSG5760では、E2800Aコントローラを使用します。
- SG5712XおよびSG5760Xでは、E2800Bコントローラを使用します。

E2800AコントローラとE2800Bコントローラの仕様と機能は、インターコネクトポートの場所を除き同じです。

E5700SG コンピューティングコントローラ

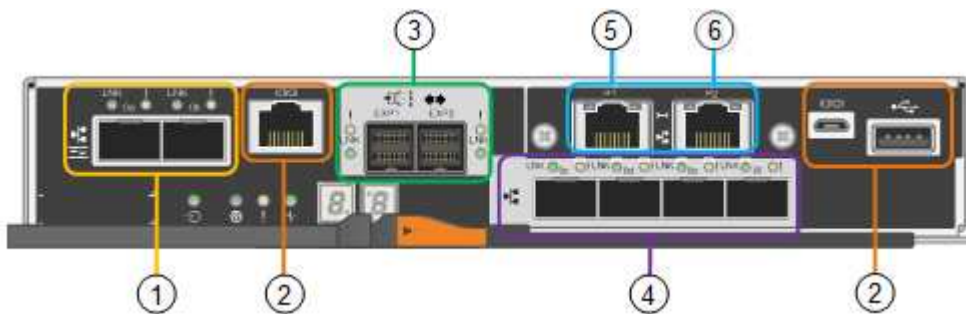
- アプライアンスのコンピューティングサーバとして機能します。
- StorageGRID アプライアンスインストーラが搭載されています。



StorageGRID ソフトウェアは、アプライアンスにプリインストールされていません。このソフトウェアには、アプライアンスの導入時に管理ノードからアクセスします。

- グリッドネットワーク、管理ネットワーク、クライアントネットワークを含む、3つの StorageGRID ネットワークすべてに接続できます。
- E2800 コントローラに接続し、イニシエータとして機能します。

E5700SGコネクタ



コールアウト	ポート	を入力します	使用
1.	インターコネクトポート 1 と 2	16Gb/秒ファイバチャネル (FC)、光ファイバSFP	E5700SG コントローラを E2800 コントローラに接続してください。
2.	診断とサポート用のポート	<ul style="list-style-type: none"> • RJ-45 シリアルポート • マイクロ USB シリアルポート • USB ポート 	テクニカルサポート専用です。
3.	ドライブ拡張ポート	12Gb/ 秒 SAS の場合	使用されませ ん。StorageGRID アプライア ンスでは、拡張ドライブシェ ルフはサポートされません。
4.	ネットワークポート 1~4	SFP トランシーバのタイプ、スイッチの速度、設定されたリンク速度に基づく 10GbE または 25GbE	StorageGRID のグリッドネット ワークおよびクライアント ネットワークに接続します。
5.	管理ポート 1	1Gb (RJ-45) イーサネット	StorageGRID の管理ネットワ ークに接続します。

コールアウト	ポート	を入力します	使用
6.	管理ポート 2.	1Gb (RJ-45) イーサネット	オプション： <ul style="list-style-type: none"> StorageGRID の管理ネットワークへの冗長接続を確保するには、管理ポート 1 とボンディングします。 一時的なローカルアクセス用 (IP 169.254.0.1) に空けておくことができます。 DHCPによって割り当てられたIPアドレスを使用できない場合は、設置時にポート2を使用してIP設定を行います。

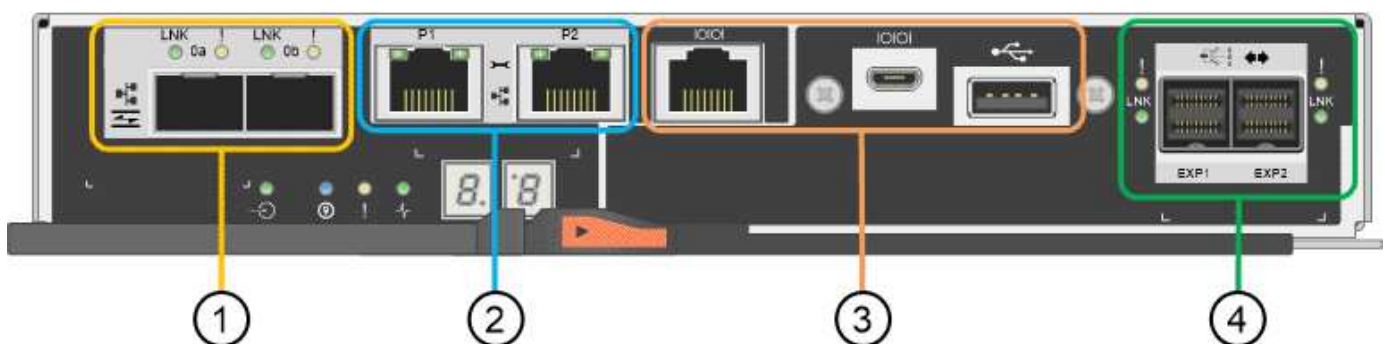
E2800ストレージコントローラ

SG5700アプライアンスでは、E2800AとE2800Bの2つのバージョンのE2800ストレージコントローラが使用されます。E2800AにはHICがなく、E2800Bには4ポートのHICが搭載されています。2つのコントローラバージョンの仕様と機能は、インターコネクトポートの位置を除いて同じです。

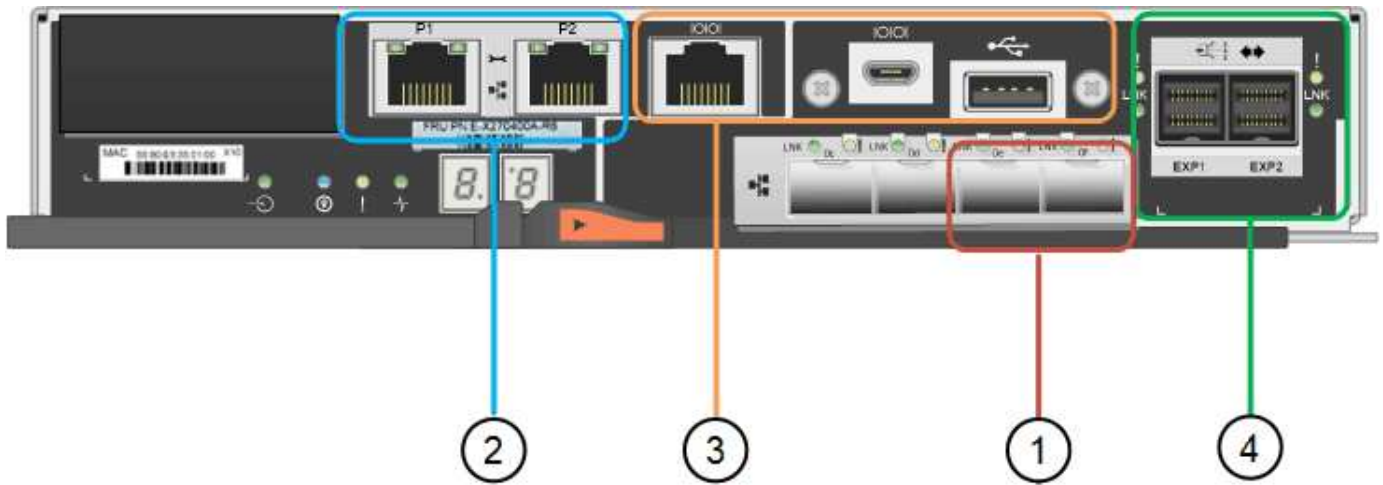
E2800シリーズストレージコントローラの仕様は次のとおりです。

- アプライアンスのストレージコントローラとして機能します。
- ドライブ上のデータストレージを管理します。
- シンプレックスモードでは標準の E シリーズコントローラとして機能します。
- SANtricity OS ソフトウェア (コントローラファームウェア) を搭載しています。
- アプライアンスハードウェアの監視、アラートの管理、AutoSupport 機能、ドライブセキュリティ機能を実行するための SANtricity System Manager が搭載されています。
- E5700SG コントローラに接続してターゲットとして機能します。

E2800Aのコネクタ



E2800B コネクタ



コールアウト	ポート	を入力します	使用
1.	インターコネクトポート 1 と 2	16Gb/s FC光ファイバSFP	E2800 コントローラを E5700SG コントローラに接続します。

コールアウト	ポート	を入力します	使用
2.	管理ポート 1 と 2	1Gb (RJ-45) イーサネット	<ul style="list-style-type: none"> • ポート 1 のオプション： <ul style="list-style-type: none"> ◦ 管理ネットワークに接続して、SANtricity System Manager に TCP/IP で直接アクセスできるようにします ◦ スイッチポートと IP アドレスを保存する場合は、有線を使用しないでください。SANtricity System Manager には、グリッドマネージャまたはストレージグリッドアプライアンスインストーラの UI を使用してアクセスします。 • 注*：正確なログタイムスタンプのための NTP 同期など、オプションの SANtricity 機能の一部は、ポート 1 を有線接続しないままにする場合は使用できません。 • 注：ポート 1 を有線接続しない場合は、StorageGRID 11.5 以降および SANtricity 11.70 以降が必要です。 • ポート 2 はテクニカルサポート専用です。
3.	診断とサポート用のポート	<ul style="list-style-type: none"> • RJ-45 シリアルポート • マイクロ USB シリアルポート • USB ポート 	テクニカルサポート専用です。
4.	ドライブ拡張ポート	12Gb/秒 SAS の場合	使用されません。

SG100 および SG1000 アプライアンス：概要

StorageGRID SG100 サービスアプライアンスと SG1000 サービスアプライアンスはゲートウェイノードおよび管理ノードとして動作して、StorageGRID システムで高可用性のロードバランシングサービスを提供できます。両方のアプライアンスをゲートウェイ

ノードとして使用し、管理ノード（プライマリノードまたは非プライマリノード）を同時に使用できます。

アプライアンスの特長

サービスアプライアンスのどちらのモデルにも次の機能があります。

- ゲートウェイノードまたは管理ノードは StorageGRID システムで機能します。
- ノードの導入と設定を簡易化する StorageGRID アプライアンスインストーラ。
- 導入後、は既存の管理ノードから、またはローカルドライブにダウンロードしたソフトウェアから StorageGRID ソフトウェアにアクセスできます。導入プロセスをさらに簡易化するために、アプライアンスには最新バージョンのソフトウェアがプリロードされています。
- 一部のアプライアンスハードウェアを監視および診断するためのベースボード管理コントローラ（BMC）。
- グリッドネットワーク、管理ネットワーク、クライアントネットワークを含む 3 つの StorageGRID ネットワークすべてに接続できること。
 - SG100 は、グリッドネットワークとクライアントネットワークとの 10GbE または 25GbE 接続を最大 4 つサポートします。
 - SG1000 では、グリッドネットワークとクライアントネットワークとの 10GbE、25GbE、40GbE、または 100GbE 接続が最大 4 つサポートされています。

SG100 と SG1000 の図

この図は、SG100 の前面とベゼルを取り外した SG1000 の前面を示しています。前面からは、ベゼル上の製品名以外の 2 つのアプライアンスは同じです。

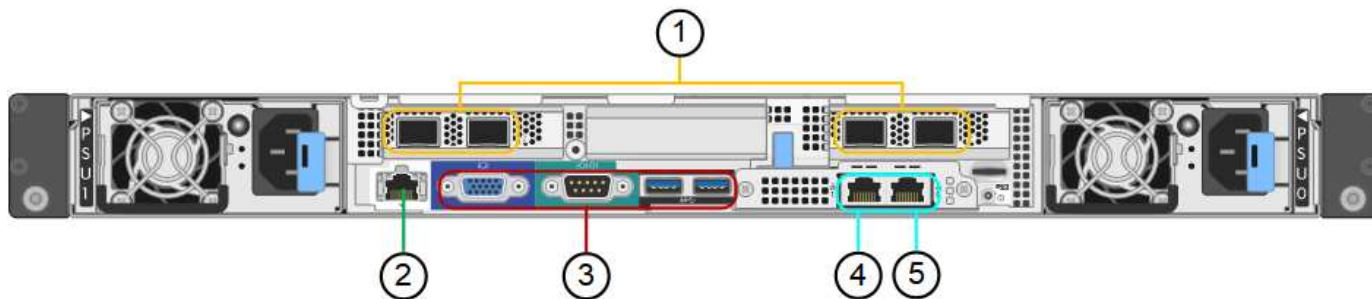


オレンジの枠で示される 2 本のソリッドステートドライブ（SSD）は、StorageGRID オペレーティングシステムの格納に使用され、冗長性を確保するために RAID 1 を使用してミラーリングされます。SG100 または SG1000 サービスアプライアンスが管理ノードとして設定されている場合は、これらのドライブに監査ログ、指標、およびデータベーステーブルが格納されます。

残りのドライブスロットは空です。

SG100 のコネクタ

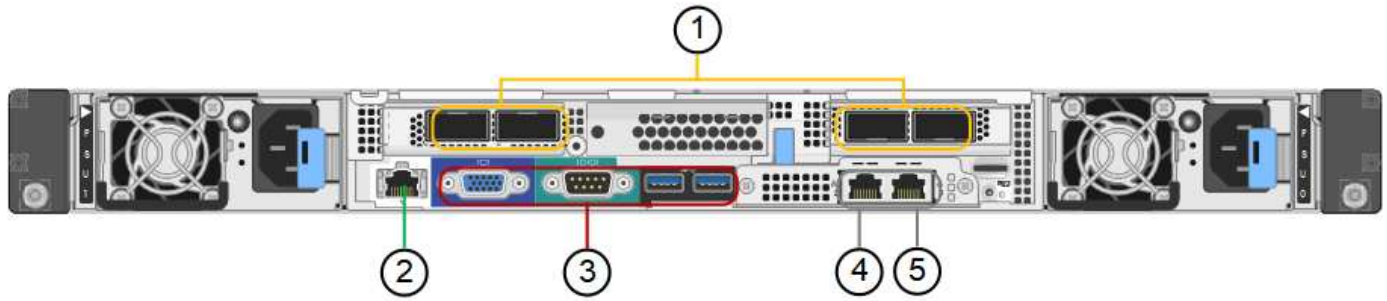
この図は、SG100 の背面にあるコネクタを示しています。



コールアウト	ポート	を入力します	使用
1.	ネットワークポート 1~4	ケーブルまたは SFP トランシーバタイプ（SFP28 および SFP+ モジュールをサポート）、スイッチ速度、設定されたリンク速度に基づく 10 / 25GbE	StorageGRID のグリッドネットワークおよびクライアントネットワークに接続します。
2.	BMC 管理ポート	1GbE （RJ-45）	アプライアンスのベースボード管理コントローラに接続します。
3.	診断とサポート用のポート	<ul style="list-style-type: none"> • VGA • シリアル、 115200 8-N-1 • USB 	テクニカルサポート専用です。
4.	管理ネットワークポート 1	1GbE （RJ-45）	アプライアンスを StorageGRID の管理ネットワークに接続します。
5.	管理ネットワークポート 2	1GbE （RJ-45）	<p>オプション：</p> <ul style="list-style-type: none"> • StorageGRID の管理ネットワークへの冗長接続を確保するには、管理ポート 1 とボンディングします。 • 一時的なローカルアクセス用（IP 169.254.0.1）に空けておくことができます。 • DHCPによって割り当てられたIPアドレスを使用できない場合は、設置時にポート2を使用してIP設定を行います。

SG1000のコネクタ

この図は、SG1000 の背面にあるコネクタを示しています。



コールアウト	ポート	を入力します	使用
1.	ネットワークポート 1~4	ケーブルまたはトランシーバのタイプ、スイッチ速度、設定されたリンク速度に基づく 10 / 25 / 40 / 100GbE 。QSFP28 と QSFP+ （40/100GbE）はネイティブでサポートされており、SFP28 / SFP+ トランシーバを QSA（別売）と併用して 10 / 25GbE の速度を使用できます。	StorageGRID のグリッドネットワークおよびクライアントネットワークに接続します。
2.	BMC 管理ポート	1GbE （RJ-45）	アプライアンスのベースボード管理コントローラに接続します。
3.	診断とサポート用のポート	<ul style="list-style-type: none"> • VGA • シリアル、 115200 8-N-1 • USB 	テクニカルサポート専用です。
4.	管理ネットワークポート 1	1GbE （RJ-45）	アプライアンスを StorageGRID の管理ネットワークに接続します。

コールアウト	ポート	を入力します	使用
5.	管理ネットワークポート 2	1GbE (RJ-45)	<p>オプション：</p> <ul style="list-style-type: none"> StorageGRID の管理ネットワークへの冗長接続を確保するには、管理ポート 1 とボンディングします。 一時的なローカルアクセス用 (IP 169.254.0.1) に空けておくことができます。 DHCPによって割り当てられたIPアドレスを使用できない場合は、設置時にポート2を使用してIP設定を行います。

SG100 および SG1000 アプリケーション

StorageGRID サービスアプライアンスは、ゲートウェイサービスおよび一部のグリッド管理サービスの冗長性を提供するためにさまざまな方法で設定できます。

アプライアンスは、次の方法で導入できます。

- ゲートウェイノードとして新規または既存のグリッドに追加します
- プライマリまたは非プライマリ管理ノードとして新しいグリッドに追加するか、非プライマリ管理ノードとして既存のグリッドに追加します
- ゲートウェイノードと管理ノード (プライマリまたは非プライマリ) として同時に動作します

アプライアンスでは、S3 または Swift データパス接続に対し、ハイアベイラビリティ (HA) グループとインテリジェントなロードバランシングを実装できます。

次に、アプライアンスの機能を最大限に活用する例を示します。

- 2 台の SG1000 アプライアンスをゲートウェイノードとして設定して、ゲートウェイサービスを提供するには、2 台の SG100 または 2 台の SG1000 アプライアンスを使用します。



SG100とSG1000サービスアプライアンスを同じサイトに導入しないでください。パフォーマンスが予測不能になる可能性があります

- 一部のグリッド管理サービスの冗長性を確保するには、2 台の SG100 または 2 台の SG1000 アプライアンスを使用します。そのためには、各アプライアンスを管理ノードとして設定します。
- 2 台の SG1000 アプライアンスを使用して、1 つ以上の仮想 IP アドレス経由でアクセスする可用性の高いロードバランシングサービスとトラフィックシェーピングサービスを提供します。そのためには、アプライアンスを管理ノードまたはゲートウェイノードの任意の組み合わせとして設定し、両方のノードを同じ HA グループに追加します。



同じHAグループの管理ノードとゲートウェイノードを使用する場合、管理ノードのみのポートはフェイルオーバーしません。の手順を参照してください "[HAグループを設定します](#)"。

StorageGRID ストレージアプライアンスとともに使用すると、SG100 と SG1000 サービスアプライアンスの両方で、外部のハイパーバイザーやコンピューティングハードウェアに依存しないアプライアンスのみのグリッドを導入できます。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。